

# 令和4年度実施施策に係る政策評価書

(農林水産省4-④)

政策分野名 【施策名】	漁村の活性化の推進
政策の概要 【施策の概要】	浜の再生・活性化、漁協系統組織の経営の健全化・基盤強化、加工・流通・消費に関する施策の展開、水産業・漁村の多面的機能の発揮、漁場環境の保全・生態系の維持、防災・減災、国土強靱化への対応
政策に関する内閣の重要政策 【施策に関する内閣の重要政策】 (施政方針演説等のうち主なもの)	<ul style="list-style-type: none"> <li>水産基本計画(令和4年3月25日閣議決定) 第2 III 地域を支える漁村の活性化の推進</li> <li>漁港漁場整備長期計画(令和4年3月25日閣議決定) 第1 漁港漁場整備事業についての基本的考え方 第2 実施の目標及び事業量</li> <li>社会資本整備重点計画(令和3年5月28日閣議決定) 第3章 計画期間における重点目標、事業の概要</li> <li>農林水産業・地域の活力創造プラン(令和4年6月21日改訂) III 13. 水産資源の適切な管理と水産業の成長産業化</li> <li>未来投資戦略2018(平成30年6月15日閣議決定) 第2 I[4] 1.(3) iv)水産業改革</li> <li>経済財政運営と改革の基本方針2022(令和4年6月7日閣議決定) 第3章 1.(4)食料安全保障の強化と農林水産業の持続可能な成長の推進</li> <li>規制改革実施計画(令和4年6月7日閣議決定) II 5. 個別分野の取組</li> <li>フォローアップ(令和4年6月7日閣議決定) III. 1. (1) デジタル田園都市国家の実現に向けた基盤整備 III. 1. (2) デジタル田園都市国家を支える農林水産業、観光産業、教育の推進</li> </ul>

施策(1)	浜の再生・活性化																																													
目標①【達成すべき目標】	漁業所得の向上																																													
測定指標	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th>基準値</th> <th colspan="5">実績値・達成度合い</th> <th>目標値</th> <th rowspan="2">達成</th> <th rowspan="2">指標一 計算分類</th> </tr> <tr> <th>直近5ヵ年実績 (29～34年度)の 5中3平均</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th>8年度</th> <th>各年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実績値</td> <td></td> <td>33% (令和3年度)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> <td rowspan="2">B</td> <td rowspan="2">F=一直</td> </tr> <tr> <td>達成度合い</td> <td></td> <td>(B:53%)</td> <td>(—:—)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>年度ごとの目標値</td> <td>56%</td> <td>62% (令和3年度)</td> <td>62%</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>62%</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	年度	基準値	実績値・達成度合い					目標値	達成	指標一 計算分類	直近5ヵ年実績 (29～34年度)の 5中3平均	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	各年度	実績値		33% (令和3年度)	—	—	—	—		B	F=一直	達成度合い		(B:53%)	(—:—)	—	—	—		年度ごとの目標値	56%	62% (令和3年度)	62%	—	—	—	62%		
	年度		基準値	実績値・達成度合い					目標値			達成	指標一 計算分類																																	
		直近5ヵ年実績 (29～34年度)の 5中3平均	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	各年度																																						
実績値		33% (令和3年度)	—	—	—	—		B	F=一直																																					
達成度合い		(B:53%)	(—:—)	—	—	—																																								
年度ごとの目標値	56%	62% (令和3年度)	62%	—	—	—	62%																																							
把握の方法	出典:水産庁調べ 作成時期:調査年度の翌年度末 算出方法:浜プランを策定している地区の達成状況を各都道府県からの報告を通じて把握。令和4年度実績値が把握できていないため、令和3年度実績値を用いて評価を実施。																																													
達成度合いの判定方法	達成率(%)=各年度の漁業所得向上目標を達成した地区の割合/目標値×100 A'ランク:150%超、Aランク:90%以上150%以下、Bランク:50%以上90%未満、Cランク:50%未満																																													
備考																																														

目標②【達成すべき目標】 漁港を海業等に利活用しやすい環境を整備、海業等の取組を一層推進										
測定指標	ア 漁港における新たな海業等の取組数	基準値	実績値・達成度合い					目標値	達成	指標－ 計算分類
		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		
		実績値		30件	－	－	－	－		C
	達成度合い		(C:30%)	(－:－)	(－:－)	(－:－)	(－:－)			
年度ごとの目標値		0件	100件	200件	300件	400件	500件	500件		
把握の方法	出典:水産庁調べ 作成時期:調査年度の翌年度の6月頃 算出方法:都道府県等からの実績報告により把握									
達成度合いの判定方法	達成度合(%)＝当該年度の実績値／当該年度の目標値×100 A'ランク:150%超、Aランク:90%以上150%以下、Bランク:50%以上90%未満、Cランク:50%未満									
備考	各年度の目標値は、漁港漁場整備長期計画に定められていないため、基準値と最終目標値を直線で結び、便宜的に目安値として定めたもの。									
測定指標	イ 漁村の活性化により新たに増加した都市漁村交流人口	基準値	実績値・達成度合い					目標値	達成	指標－ 計算分類
		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		
		実績値		令和5年10月末把握予定	－	－	－	－		－
	達成度合い		(－:－)	(－:－)	(－:－)	(－:－)	(－:－)			
年度ごとの目標値		0万人	40万人	80万人	120万人	160万人	200万人	200万人		
把握の方法	出典:水産庁調べ 作成時期:調査年度の翌年度の10月頃 算定方法:都道府県等からの実績報告により把握									
達成度合いの判定方法	達成度合(%)＝当該年度の実績値／当該年度の目標値×100 A'ランク:150%超、Aランク:90%以上150%以下、Bランク:50%以上90%未満、Cランク:50%未満									
備考	各年度の目標値は、漁港漁場整備長期計画に定められていないため、基準値と最終目標値を直線で結び、便宜的に目安値として定めたもの。									
目標③【達成すべき目標】 離島地域の漁業集落が共同で行う漁業の再生のための取組の支援										
測定指標	ア 離島漁業再生支援等交付金の取組に参加している離島漁業者の平均漁業所得額	基準値	実績値・達成度合い					目標値	達成	指標－ 計算分類
		年度	2年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度		
		実績値		1.5百万円	－	－	－	－		A
	達成度合い		(A:115%)	(－:－)	(－:－)	(－:－)	(－:－)			
年度ごとの目標値		1.3百万円	1.3百万円	1.3百万円	1.3百万円	1.3百万円	1.3百万円	1.3百万円		
把握の方法	出典:水産庁調べ 作成時期:調査年度翌年の8月頃 算出方法:離島漁業再生支援等交付金の取組に参加している離島漁業者の平均漁業所得を各都道府県を通じて把握。									
達成度合いの判定方法	達成度合(%)＝当該年度の実績値／当該年度の目標値×100 A'ランク:150%超、Aランク:90%以上150%以下、Bランク:50%以上90%未満、Cランク:50%未満									
備考										

施策(2)	漁協系統組織の経営の健全化・基礎強化										
目標①【達成すべき目標】	複数漁協間での広域合併、収支改善に向けた漁協系統組織の取組を促進										
測定指標	ア 沿海地区漁業協同組合の組合数(出資及び非出資)		基準値	実績値・達成度合い					目標値	達成	指標- 計算分類
		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	8年度		
		実績値		864 組合	-	-	-	-			
	達成度合い		(B:60%)	(-: -)	(-: -)	(-: -)	(-: -)				
	年度ごとの目標値	873 組合	858 組合	843 組合	828 組合	813 組合	798 組合	798 組合	B	S↓-差	
把握の方法	出典:水産庁調べ 作成時期:調査年度の翌年度6月頃 算出方法:都道府県からの報告により把握										
達成度合いの判定方法	達成率(%)=(実績値-基準値)/(目標値-基準値)×100 A'ランク:150%超、Aランク:90%以上150%以下、Bランク:50%以上90%未満、Cランク:50%未満										
備考											
施策(3)	加工・流通・消費に関する施策の展開										
目標①【達成すべき目標】	資源状況の良い加工原料への転換や多様化、新製品開発や新規販路開拓等の経営改善に資する取組を促進、加工・流通のバリューチェーンの強化、国産水産物の消費拡大										
測定指標	ア 魚介類(食用)の年間消費量		基準値	実績値・達成度合い					目標値	達成	指標- 計算分類
		年度	元年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	14年度		
		実績値		40.4 kg/人年 (概算値)	-	-	-	-			
	達成度合い		(A:93%)	(-: -)	(-: -)	(-: -)	(-: -)				
	年度ごとの目標値	44.6 kg/人年	43.5 kg/人年	43.1 kg/人年	42.8 kg/人年	42.4 kg/人年	42.0 kg/人年	39.8 kg/人年	A	F↓-直	
把握の方法	出典:食料需給表 作成時期:調査年度の翌々年度末(概算値は調査年度の翌年度8月に把握予定) 算出方法:粗食料/年度中(10月1日)の我が国の総人口 なお、実績値の確定値は調査年度の翌々年度末に把握できるため、概算値を用いて評価を実施。										
達成度合いの判定方法	達成度合(%)=当該年度の実績値/当該年度の目標値×100 A'ランク:150%超、Aランク:90%以上150%以下、Bランク:50%以上90%未満、Cランク:50%未満										
備考	年度ごとの目標値については、「水産基本計画」(令和4年3月25日閣議決定)において定められていないため、基準値と目標値を直線で結んで算出した年度ごとの消費量の目安値を目標値とした。										

目標②【達成すべき目標】		水産物の価格の著しい変動を緩和し、加工原料を安定的に供給									
測定指標	ア 対象水産物の年間変動係数	年度	基準値	実績値・達成度合い					目標値	達成	指標－ 計算分類
		実績値	平成19年度～平成28年度までの 平均値	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度		
		達成度合い		(A:104%)	(-: -)	(-: -)	(-: -)	(-: -)			
	年度ごとの目標値		0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	A	F＝一直
把握の方法	出典:産地水産物流通調査 作成時期:調査年度の翌年度末 算出方法:産地価格の標準偏差/産地平均価格 なお、産地水産物流通調査における月別調査(調査年度の翌年度4月分)にて概算値の把握が可能なことから、概算値を用いて評価を実施。										
達成度合いの判定方法	達成度合(%)＝当該年度の目標値/当該年度の実績値×100 A'ランク:150%超、Aランク:90%以上150%以下、Bランク:50%以上90%未満、Cランク:50%未満										
備考											
目標③【達成すべき目標】		省人化・省力化、生産性向上									
測定指標	ア 水産食料品製造業の労働生産性	年度	基準値	実績値・達成度合い					目標値	達成	指標－ 計算分類
		実績値	元年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	各年度		
		達成度合い		(A:109%)	(-: -)	(-: -)	(-: -)	(-: -)			
	年度ごとの目標値		6.80百万円/人	対前年増又は同数	対前年増又は同数	対前年増又は同数	対前年増又は同数	対前年増又は同数	対前年増又は同数	A	O＝一直
把握の方法	出典:工業統計調査、経済構造実態調査(経済産業省)、経済センサス-活動調査(総務省・経済産業省) 作成時期:調査年度の翌年度秋頃 算出方法:水産食料品製造業の(付加価値額)/(従業員数) なお、実績値については、調査年度の翌年度秋頃の把握となるため、直近で把握している令和2年度実績値を用いて評価を実施。										
達成度合いの判定方法	達成度合(%)＝当該年度の実績値/前年度の実績値×100 A'ランク:150%超、Aランク:90%以上150%以下、Bランク:50%以上90%未満、Cランク:50%未満										
備考											
目標④【達成すべき目標】		漁港において高度な衛生管理に対応した荷さばき所、冷凍・冷蔵施設等の整備を推進									
測定指標	ア 水産物の流通拠点となる漁港において総合的な衛生管理体制の下で取り扱われる水産物の取扱量の割合【再掲】	年度	基準値	実績値・達成度合い					目標値	達成	指標－ 計算分類
		実績値	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	各年度		
		達成度合い		(A:90%)	(-: -)	(-: -)	(-: -)	(-: -)			
	年度ごとの目標値		45%	50%	55%	60%	65%	70%	70%	A	F↑＝一直
把握の方法	出典:水産庁調べ 作成時期:調査年度の翌年度6月頃 算出方法:都道府県等の実績報告から把握										
達成度合いの判定方法	達成度合(%)＝当該年度の実績値/当該年度の目標値×100 A'ランク:150%超、Aランク:90%以上150%以下、Bランク:50%以上90%未満、Cランク:50%未満										
備考	各年の目標値は、漁港漁場整備長期計画に定められていないため、基準値と最終目標値を直線で結び、便宜的に目安値として定めたもの。										

目標⑤【達成すべき目標】		水産エコラベルの活用									
測定指標	ア 生産段階認証(注1)(漁業・養殖業)の認証数	基準値		実績値・達成度合い					目標値	達成	指標－ 計算分類
		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度		
		実績値		112件	—	—	—	—		B	S↑－直
	達成度合い		(B:75%)	(－:－)	(－:－)	(－:－)	(－:－)				
年度ごとの目標値		110件	150件	175件	200件	225件	250件	275件			
把握の方法	出典:水産庁調べ 作成時期:調査年度の翌年度の4月 算出方法:国内で認証実績のある水産エコラベルのスキームオーナーに対する調査・集計										
達成度合いの判定方法	達成度合(%)=当該年度の実績値/当該年度の目標値×100 A'ランク:150%超、Aランク:90%以上150%以下、Bランク:50%以上90%未満、Cランク:50%未満										
備考											
施策(4)		水産業・漁村の多面的機能の発揮									
目標①【達成すべき目標】		自然環境の保全、保健休養・交流・教育の場の提供などの、水産業・漁村の持つ水産物の供給以外の多面的な機能が将来にわたって発揮されるよう、取組を促進									
測定指標	ア 藻場の保全・創造に向けた取組・対策の実施面積	基準値		実績値・達成度合い					目標値	達成	指標－ 計算分類
		年度	2年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	8年度		
		実績値		令和6年6月下旬把握予定	—	—	—	—		－	S↑－直
	達成度合い		(－:－)	(－:－)	(－:－)	(－:－)	(－:－)				
年度ごとの目標値		6,336 ha	6,469 ha	6,602 ha	6,735 ha	6,868 ha	7,000 ha	7,000 ha			
把握の方法	出典:水産庁調べ 作成時期:調査年度の翌々年度の6月頃 算出方法:都道府県及び市町村を通じて実績値を把握										
達成度合いの判定方法	達成度合(%)=当該年度の実績値/当該年度の目標値×100 A'ランク:150%超、Aランク:90%以上150%以下、Bランク:50%以上90%未満、Cランク:50%未満										
備考											
測定指標	イ 漁村の活性化により新たに増加した都市漁村交流人口【再掲】	基準値		実績値・達成度合い					目標値	達成	指標－ 計算分類
		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	8年度		
		実績値		令和5年10月末把握予定	—	—	—	—		－	F↑－直
	達成度合い		(－:－)	(－:－)	(－:－)	(－:－)	(－:－)				
年度ごとの目標値		0万人	40万人	80万人	120万人	160万人	200万人	200万人			
把握の方法	出典:水産庁調べ 作成時期:調査年度の翌年度の10月頃 算定方法:都道府県等からの実績報告により把握										
達成度合いの判定方法	達成度合(%)=当該年度の実績値/当該年度の目標値×100 A'ランク:150%超、Aランク:90%以上150%以下、Bランク:50%以上90%未満、Cランク:50%未満										
備考	各年度の目標値は、漁港漁場整備長期計画に定められていないため、基準値と最終目標値を直線で結び、便宜的に目安値として定めたもの。										

施策(5)	漁場環境の保全・生態系の維持										
目標①【達成すべき目標】	藻場・干潟の保全・創造										
測定指標	ア 藻場の保全・創造に向けた取組・対策の実施面積【再掲】		基準値	実績値・達成度合い					目標値	達成	指標－ 計算分類
		年度	2年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	8年度		
		実績値		令和6年 6月下旬 把握予定	－	－	－	－		－	S↑－直
		達成度合い		(－:－)	(－:－)	(－:－)	(－:－)	(－:－)			
年度ごとの目標値		6,336 ha	6,469 ha	6,602 ha	6,735 ha	6,868 ha	7,000 ha	7,000 ha			
把握の方法	出典:水産庁調べ 作成時期:調査年度の翌々年度の6月頃 算出方法:都道府県及び市町村を通じて実績値を把握										
達成度合いの 判定方法	達成度合(%)＝当該年度の実績値／当該年度の目標値×100 A'ランク:150%超、Aランク:90%以上150%以下、Bランク:50%以上90%未満、Cランク:50%未満										
備考											
目標②【達成すべき目標】	赤潮・貧酸素水塊(注2)による漁業被害の軽減対策										
測定指標	ア 我が国の養殖生産量		基準値	実績値・達成度合い					目標値	達成	指標－ 計算分類
		年度	2年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	各年度		
		実績値		911 千トン	－	－	－	－		A	F＝－直
		達成度合い		(A:94%)	(－:－)	(－:－)	(－:－)	(－:－)			
年度ごとの目標値		970 千トン	970 千トン	970 千トン	970 千トン	970 千トン	970 千トン	970 千トン			
把握の方法	出典:漁業・養殖業生産統計年報 作成時期:調査年度の翌年度の5月頃 算出方法:農林水産省統計部から公表される速報値により、当該年の生産量を当該年度の指標として把握										
達成度合いの 判定方法	達成度合(%)＝当該年度の実績値／当該年度の目標値×100 Aランク:90%以上、Bランク:50%以上90%未満、Cランク:50%未満										
備考											

目標③【達成すべき目標】		環境に配慮した生分解性素材を用いた漁具などの製品開発									
測定指標	ア 生分解性プラスチック製漁具の実証取組数	基準値	実績値・達成度合い						目標値	達成	指標－ 計算分類
		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度		
		実績値		－	－	－	－	－		－	S↑－直
	達成度合い		－	－	(－:－)	(－:－)	(－:－)				
年度ごとの目標値		0%	－	－	30%	50%	80%	100%			
把握の方法	出典:水産庁調べ 作成時期:事業年度末 算出方法:国の事業による取組数から算出										
達成度合いの判定方法	達成度合(%)＝当該年度の実績値／当該年度の目標値×100 A'ランク:150%超、Aランク:90%以上150%以下、Bランク:50%以上90%未満、Cランク:50%未満										
備考											
目標④【達成すべき目標】		海洋環境の変化に適応した漁場整備を推進									
測定指標	ア 水産資源の回復や生産力の向上のための新たな漁場整備による水産物の増産量	基準値	実績値・達成度合い						目標値	達成	指標－ 計算分類
		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	8年度		
		実績値		令和6年 6月下旬 把握予定	－	－	－	－		－	S↑－直
	達成度合い		(－:－)	(－:－)	(－:－)	(－:－)	(－:－)				
年度ごとの目標値		0 万トン	1.3 万トン	2.6 万トン	3.9 万トン	5.2 万トン	6.5 万トン	6.5 万トン			
把握の方法	出典:水産庁調べ 作成時期:調査年度の翌々年度の6月頃 算出方法:都道府県及び市町村を通じて実績値を把握										
達成度合いの判定方法	達成度合(%)＝当該年度の実績値／当該年度の目標値×100 A'ランク:150%超、Aランク:90%以上150%以下、Bランク:50%以上90%未満、Cランク:50%未満										
備考											

施策(6)	防災・減災、国土強靱化への対応										
目標①【達成すべき目標】	持続的な水産物の安定供給に資する漁港施設の耐震化等を推進										
測定指標	ア 水産物の流通拠点となる漁港において、地震・津波災害発生時における水産物の早期回復体制が構築された漁港の割合		基準値	実績値・達成度合い					目標値	達成	指標－ 計算分類
		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	8年度		
		実績値		29%	—	—	—	—		B	S↑－直
		達成度合い		(B:81%)	(－:－)	(－:－)	(－:－)	(－:－)			
年度ごとの目標値		27%	36%	44%	53%	61%	70%	70%			
把握の方法	出典:水産庁調べ 作成時期:調査年度の翌年度の6月頃 算出方法:都道府県等からの実績報告により把握										
達成度合いの判定方法	達成度合(%)＝当該年度の実績値／当該年度の目標値×100 A'ランク:150%超、Aランク:90%以上150%以下、Bランク:50%以上90%未満、Cランク:50%未満										
備考	各年度の目標値は、漁港漁場整備長期計画に定められていないため、基準値と最終目標値を直線で結び、便宜的に目安値として定めたもの。										
測定指標	イ 海岸堤防等の整備率		基準値	実績値・達成度合い					目標値	達成	指標－ 計算分類
		年度	元年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	7年度		
		実績値		58%	—	—	—	—		A	S↑－直
		達成度合い		(A:90%)	(－:－)	(－:－)	(－:－)	—			
年度ごとの目標値		53%	64%	64%	64%	64%	—	64%			
把握の方法	出典:社会資本整備重点計画における指標フォローアップ調査(農林水産省・国土交通省の海岸担当部局による共同調査) 作成時期:調査年度の翌年度6月頃 算出方法:対象の海岸堤防等の延長のうち、計画高までの整備が完了している延長を集計し把握										
達成度合いの判定方法	達成度合(%)＝当該年度実績値／令和7年度目標値×100 A'ランク:150%超、Aランク:90%以上150%以下、Bランク:50%以上90%未満、Cランク:50%未満										
備考	社会資本整備重点計画において、海岸事業に関連する指標として「海岸堤防等の整備率」が定められており、令和7年度の目標値が64%と設定されている。このため、年度ごとの目標値は、便宜的に目標年度の目標値を設定している。										
測定指標	ウ 南海トラフ地震、首都直下型地震、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震等の大規模地震が想定されている地域等における海岸堤防等の耐震化率		基準値	実績値・達成度合い					目標値	達成	指標－ 計算分類
		年度	元年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	7年度		
		実績値		65%	—	—	—	—		A	S↑－直
		達成度合い		(A:110%)	(－:－)	(－:－)	(－:－)	—			
年度ごとの目標値		56%	59%	59%	59%	59%	—	59%			
把握の方法	出典:社会資本整備重点計画における指標フォローアップ調査(農林水産省・国土交通省の海岸担当部局による共同調査) 作成時期:調査年度の翌年度6月頃 算出方法:対象の海岸堤防等の延長のうち、L1地震動に対する耐震性の確保が完了している延長を集計し把握										
達成度合いの判定方法	達成度合(%)＝当該年度実績値／令和7年度目標値×100 A'ランク:150%超、Aランク:90%以上150%以下、Bランク:50%以上90%未満、Cランク:50%未満										
備考	社会資本整備重点計画において、海岸事業に関連する指標として、「南海トラフ地震、首都直下地震、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震等の大規模地震が想定されている地域等における海岸堤防等の耐震化率」が定められており、令和7年度の目標値が59%と設定されている。このため、年度ごとの目標値は、便宜的に目標年度の目標値を設定している。										



測定指標	エ 南海トラフ地震、首都直下型地震、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震等の大規模地震が想定されている地域等における水門・陸間等の安全な閉鎖体制の確保率	基準値	実績値・達成度合い					目標値	達成	指標－ 計算分類	
		年度	元年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度			7年度
		実績値		84%	－	－	－	－			
		達成度合い	(A:98%)	(－:－)	(－:－)	(－:－)	－		A	S↑－直	
	年度ごとの目標値	77%	85%	85%	85%	85%	－	85%			
把握の方法	出典:社会資本整備重点計画における指標フォローアップ調査(農林水産省・国土交通省の海岸担当部局による共同調査) 作成時期:調査年度の翌年度6月頃 算出方法:対象施設のうち、自動化・遠隔操作化等といった安全な閉鎖体制確保のための対策を実施した施設数を集計し把握										
達成度合いの判定方法	達成度合(%)＝当該年度実績値/令和7年度目標値×100 A'ランク:150%超、Aランク:90%以上150%以下、Bランク:50%以上90%未満、Cランク:50%未満										
備考	社会資本整備重点計画において、海岸事業に関連する指標として、「南海トラフ地震、首都直下地震、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震等の大規模地震が想定されている地域等における水門・陸間等の安全な閉鎖体制の確保率」が定められており、令和7年度の目標値が85%と設定されている。このため、年度ごとの目標値は、便宜的に目標年度の目標値を設定している。										
目標②【達成すべき目標】	避難路や避難施設の整備などの避難対策を推進										
測定指標	ア 最大クラスの津波に対する安全な避難が可能となった漁村人口の割合	基準値	実績値・達成度合い					目標値	達成	指標－ 計算分類	
		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度			8年度
		実績値		令和5年12月末把握予定	－	－	－	－			
		達成度合い	(－:－)	(－:－)	(－:－)	(－:－)	(－:－)		－	S↑－直	
	年度ごとの目標値	70%	73%	76%	79%	82%	85%	85%			
把握の方法	出典:水産庁調べ 作成時期:調査年度の翌年度の12月頃 算出方法:都道府県等からの実績報告により把握										
達成度合いの判定方法	達成度合(%)＝当該年度の実績値/当該年度の目標値×100 A'ランク:150%超、Aランク:90%以上150%以下、Bランク:50%以上90%未満、Cランク:50%未満										
備考	各年度の目標値は、漁港漁場整備長期計画に定められていないため、基準値と最終目標値を直線で結び、便宜的に目安値として定めたもの。										

目標③【達成すべき目標】		地域の水産業の早期再開を図る									
測定指標	ア 水産物の流通拠点となる漁港において、地震・津波災害発生時における水産業の早期回復体制が構築された漁港の割合【再掲】	年度	基準値	実績値・達成度合い					目標値	達成	指標－ 計算分類
			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	8年度		
		実績値		29%	—	—	—	—		B	S↑－直
		達成度合い		(B:81%)	(－:－)	(－:－)	(－:－)	(－:－)			
年度ごとの目標値		27%	36%	44%	53%	61%	70%	70%			
把握の方法	出典:水産庁調べ 作成時期:調査年度の翌年度の6月頃 算出方法:都道府県等からの実績報告により把握										
達成度合いの判定方法	達成度合(%)=当該年度の実績値/当該年度の目標値×100 A'ランク:150%超、Aランク:90%以上150%以下、Bランク:50%以上90%未満、Cランク:50%未満										
備考	各年度の目標値は、漁港漁場整備長期計画に定められていないため、基準値と最終目標値を直線で結び、便宜的に目安値として定めたもの。										
目標④【達成すべき目標】		予防保全型の老朽化対策に転換を図る									
測定指標	ア 予防保全型の老朽化対策に転換し、機能の保全及び安全な利用が確保された漁港の割合	年度	基準値	実績値・達成度合い					目標値	達成	指標－ 計算分類
			3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	8年度		
		実績値		49%	—	—	—	—		A	S↑－直
		達成度合い		(A:96%)	(－:－)	(－:－)	(－:－)	(－:－)			
年度ごとの目標値		46%	51%	56%	61%	66%	70%	70%			
把握の方法	出典:水産庁調べ 作成時期:調査年度の翌年度6月頃 算出方法:都道府県等からの実績報告により把握										
達成度合いの判定方法	達成度合(%)=当該年度の実績値/当該年度の目標値×100 A'ランク:150%超、Aランク:90%以上150%以下、Bランク:50%以上90%未満、Cランク:50%未満										
備考	各年度の目標値は、漁港漁場整備長期計画に定められていないため、基準値と最終目標値を直線で結び、便宜的に目安値として定めたもの。										
測定指標	イ 予防保全に向けた海岸堤防等の対策実施率	年度	基準値	実績値・達成度合い					目標値	達成	指標－ 計算分類
			元年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	7年度		
		実績値		87%	—	—	—	—		A	S↑－直
		達成度合い		(A:100%)	(－:－)	(－:－)	(－:－)	—			
年度ごとの目標値		84%	87%	87%	87%	87%	—	87%			
把握の方法	出典:社会資本整備重点計画における指標フォローアップ調査(農林水産省・国土交通省の海岸担当部局による共同調査) 作成時期:調査年度の翌年度6月頃 算出方法:対象の海岸堤防等の延長のうち、予防保全に向けた海岸堤防等の修繕が完了している延長を集計し把握										
達成度合いの判定方法	達成度合(%)=当該年度実績値/令和7年度目標値×100 A'ランク:150%超、Aランク:90%以上150%以下、Bランク:50%以上90%未満、Cランク:50%未満										
備考	社会資本整備重点計画において、海岸事業に関連する指標として「予防保全に向けた海岸堤防等の対策実施率」が定められており、令和7年度の目標値が87%と設定されている。このため、年度ごとの目標値は、便宜的に目標年度の目標値を設定している。										

	目標達成度合いの測定結果	(各行政機関共通区分)	③相当程度進展あり
評価結果	測定指標についての要因分析(達成度合いが悪い場合等)【施策の分析】	<p><b>【(1)②(ア)】漁港における新たな海業等の取組</b>          漁港における新たな海業等の取組数については、令和4年度の実績値が30件で、達成度合いが30%で「C」となった。このことに係る要因分析は以下のとおり。</p> <p><b>① 施策(政策分野)及び測定指標をめぐる社会の動向</b></p> <p>本測定指標は、漁港漁場整備長期計画(令和4年3月閣議決定)において、全国の漁港の有効活用や海業等の取組の促進を図り、令和8年度までにおおむね500件の海業等の取組を漁港において展開することとしていることを踏まえ、毎年100件ずつ取り組みが進むものとして設定したものである。本施策をとりまく状況としては、水産物消費の大幅な減少、主要魚種の不漁等の重要な課題に対し、漁港において、地域の価値や魅力を活かし、水産物の消費増進や交流促進に寄与する「海業」の推進等により、水産業の発展及び漁業地域の活性化を図る必要がある状況である。</p> <p><b>② 測定指標の目標達成に向けた主な取組</b></p> <p>「漁港を海業等に利活用しやすい環境を整備、海業等の取組を一層推進」を達成するため、水産庁において、まずは関係省庁との連携を図ることとし、海業支援パッケージ(海業に取り組む際に関連すると考えられる施策をまとめたもの)の作成及び水産庁ホームページへの公表、地方からの問い合わせやアドバイスを速やかに行えるよう海業振興総合窓口(海業コンシェルジュ)の設置、先行事例づくりのための海業振興モデル地区の選定や、国の地元協議会への参加と計画づくりへの支援、先行事例の横展開のための説明会の実施、更には、民間事業者が参加しやすい環境づくりのための漁港漁場整備法の改正等に取り組んでいる。</p> <p>地元において、多くの地域で新たに事業運営が開始されている他、更に全国各地で事業実施に向けた協議や企画策定、調整が進められているところである。</p> <p>また、多様な人材が活躍できるよう、住みやすく快適な生活環境等の確保を図るため、漁業集落排水施設、漁業集落道、情報通信基盤等の整備を推進するとともに、地元市町村等による漁業後継者の育成や定住促進等の取組との連携を推進することとしている。</p> <p>(進捗状況)          漁業集落排水施設、漁業集落道、情報通信基盤等の整備の進捗状況であるが、令和3年度までの漁港漁場整備長期計画において、計画期間5か年における実績値は、          ①漁業集落排水処理施設の整備(目標200、実績202地区)を行うことにより、漁業集落排水処理施設が整備された漁村の人口割合は65%(平成27年度)→80%(令和3年度)に増加し、目標値である80%を達成している。          ②拠点漁港における就労環境改善の対策(目標80漁港、実績90漁港)を行うことにより、拠点漁港で就労環境が改善された漁港の割合は51%(平成28年度)→62%(令和3年度)に増加し、目標値である60%を達成しており、いずれも順調に進捗しているところ。</p> <p><b>③ 目標の達成状況に影響したと考えられる要因の分析</b></p> <p>本測定指標の年度ごとの目標値「100件」は、基準値と最終目標値を直線で結び、便宜的に目安値として定めたものであり、取組の初年度としては高い目標設定となっている。</p> <p>令和4年度の実績値としてカウントした30件は、企画検討中のもの、調整段階の事案は対象としておらず、令和4年度に漁港において新たに事業運営を開始した事案のみを対象としている。また、海業は新たな取組であることから、説明会等で考え方の周知、先行事例の横展開をしており、取組の浸透に時間を要していること、令和4年度は民間事業者が参加しやすい環境づくりを目指した法改正前であったこと等が、達成度合いがCとなった要因と考える。</p>	
	次期目標等への反映の方向性	<p><b>【(1)②(ア)】漁港における新たな海業等の取組</b></p> <p>水産庁では、目標達成に向け、          ①モデル地区を12地区選定し、国と地域が一緒になって先行事例づくりに取り組むほか、          ②関係省庁と連携して、海業振興に有効と考えられる「海業支援パッケージ」を作成すること、          ③こうした支援制度について、地域において十分に理解が進み、浸透するよう、相談窓口と併せ、関係省庁との連絡体制づくりを行うことなど取組を進めているところである。</p> <p>さらに、令和6年度には、漁港での海業振興に向けた改正漁港漁場整備法が施行されるなど、事業の実施に関わる制度が整う見込みである。</p> <p>今後は、生活環境等の確保に向けて、令和4年度から令和8年度までの現在の漁港漁場整備長期計画において、          ①漁業集落排水施設が整備された漁村の人口割合について、基準値80%(令和3年度)を5年間で95%(令和8年度)まで、          ②拠点漁港における就労環境が改善された漁港の割合について、基準値69%(令和3年度)を5年間で85%(令和8年度)まで、          高める目標を設定しているところである。今後も引き続き着実に進捗が図られるよう、必要な予算の確保や着実な執行の推進を図ってまいりたい。</p> <p>これらの取組により、後年度には更なる事業の実施が期待でき、実績値も向上するものと考えている。</p>	
	学識経験を有する者の知見の活用	<p><b>【(1)②(ア)】漁港における新たな海業等の取組</b>          ・海業の取組を推進していくにあたり、普及啓発や支援を充実することに加え、来訪者等様々な人材が活躍できるよう生活基盤などの環境整備が重要。(智田委員、廣田委員)          →漁港において海業の取組主体となるのは漁協や漁業者のみならず、水産加工業者、小売店、宿泊業者、マリンレジャーを展開する事業者等様々な人々が考えられる。海業を行おうとする者がその能力をいかんなく発揮し、海業推進に資するよう、漁村の生活環境や就労環境の整備等、引き続き着実に推進してまいりたい。</p>	
	政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	-	

評価結果の政策への 反映状況 (主なもの)	予算	・多様な人材が活躍できるよう、住みやすく快適な生活環境等の確保を図るため、引き続き、漁業集落排水施設等による漁村の生活環境の改善、浮桟橋の整備等による漁港の就労環境の改善等の対策を行う水産基盤整備事業(公共事業)(事業番号0333)を要求する(水産基盤整備事業の内数)。
	税制	—
	その他 (法令、組織、定員等)	・海業を着実に推進するため、水産庁において必要な体制を構築・強化するべく、引き続き組織・定員要求を行っていく。

担当部局名	水産庁 【企画課/水産経営課/加工流通課/研究指導課/漁場資源課/計画課/整備課/防災漁村課】	政策評価実施 時期	令和5年8月
-------	--	--------------	--------

(参考)

用語解説

注1	生産段階認証	持続可能で環境に配慮した漁業・養殖業から生産された水産物であることを担保する認証を指す。
注2	貧酸素水塊	溶存酸素が少ない水塊。

※ 測定指標の詳細及び政策手段については、令和5年度事前分析表をご覧ください。